

第1回庄内町立図書館協議会 会議録

開催日時 令和4年5月20日（金） 午後6時30分 開会
午後8時15分 閉会

開催場所 庄内町役場B棟2階 会議室2

出席者 出席委員6名 大山浩司、小野寺姫、三浦志保、奥山洋子、菅原昭治、志田啓子
欠席者 欠席委員1名 佐藤克則
事務局 社会教育課 課長 樋渡真樹
庄内町立図書館 主査兼図書館長 佐藤晃子
庄内町立図書館 主事 長南千夏

議事日程

1 開会（以下進行：事務局）

2 辞令交付

3 あいさつ

小野寺委員長

図書館建設も始まり、図書館運営がイレギュラーな年になると思う。その中でできることを一生懸命やっていけるよう、ご意見をお願いしたい。

現在会期中の原画展に行ったが、綺麗な色のやさしい絵がたくさんあり、戦争や犯罪などで殺伐としている中で、ホッとする時間をもらえた。私たちが目指していく絵のある図書館、本のある美術館は、こういう役割を果たす場所になるのだと改めて感じた。今、多くの方が暗い気持ちになっている中で図書館が大きな役割を果たすために、皆さんからのご意見をいただきたい。

社会教育課長

日頃から図書館運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。図書館が約43年ぶりに新たにできるということを嬉しく思っていますし、いかに愛される図書館にしていくべきか「熟議」を重ねていかなければならないと思っています。

4 自己紹介

5 報告事項（座長：委員長）《資料に基づき説明：事務局》

- (1) 令和4年度庄内町立図書館運営計画について
- (2) 令和4年度庄内町立図書館協議会年間計画について
- (3) 令和4年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画について

6 協議事項

(1) 令和3年度庄内町立図書館及び庄内町内藤秀因水彩画記念館事業評価について 《資料に基づき説明：事務局》

委員長 データでは、来館者が昨年と比較して微増だったということだが、感覚としてはどうか。

事務局 子どもだけで来館する数が非常に減ったように感じる。週末、保護者と一緒に来館する子どもは見られるものの、コロナ禍において子どもだけで行動することに、未だ社会全体で不安が残っているように感じる。今まで図書館というのは、ここまで危機感を持って来るような場所ではなかったと思う。「子どもの声は未来の声」と言われるが、平日に子どもたちの声が図書館から消えてしまったことを残念に思っている。ぜひ、新しい図書館になったら、子どもたちの未来に向けた声や歓声が、図書館の中で前と同じように響き渡ってくれたらと切に願っている。

(2) 新図書館開館に伴う庄内町立図書館及び分館、庄内町内藤秀因水彩画記念館の開館時間及び休館日等について 《資料に基づき説明：事務局》

委員 見直し案に賛成である。色々とシフトを組み、シミュレーションをしたうえでの見直し案だと思うので、職員数を変えられないのであれば、できる範囲でサービス向上を目指して欲しい。ただ、説明にもあった余目中学校の部活動休止日への対応に課題が残ることについては、子どもたちの図書館離れを感じる中で、何か対策を講じていく必要はあると思うが、休館日だけの単純な問題では片づけられないような気がする。また、中学生は学校帰りに家に真っ直ぐに帰らなければならなかったり、小学生は子どもたち同士で学区外へ行くことが禁止されていたりする。図書館が本を借りる場所だけでなく、勉強をする場所の提供ということを考えると、そういった面も工夫をする必要があると思う。

委員 6人体制のままで、冬期間の1時間延長をよく検討できたと思う。町民としては、開いていれば嬉しいが、果たして昨年のような厳しい冬の環境の中の図書館利用はどのくらい増えるのかと感じる。職員数が増えるなら良いが、変わらないということで、厳しい印象を持った。

事務局 決して簡単ではないと思うが、せっかく新しい図書館をオープンするのに、現状維持ではなく、サービスの拡充を打ち出したかった。一方で、期待に沿うことができなかった面もある。今回の案は、現状でできる最大値を打ち出したつもりだ。ただ、これを以って決定ではなく、今後教育委員会定例会等に諮る予定である。そして最終的には、2月オープンに向けて、12月議会に諮る予定である。それまでに、更に検討を重ね、皆さんに納得いただけるような着地点を見出していきたいと思っている。

委員 中学生を持つ親としては、月曜日に図書館へ行けないのは残念ではあり、もったいないと思う。現在中学校は、17時半までには部活が終了し、スクールバスは17時50分発となっている。そのため、17時半から19時の間に図書館へ行くことが可能であれば良いが、中学校側も生徒への指導が厳しくなっており、部活が終わった後は、すぐ家に帰るよう指示されている。ただ、テスト期間の1週間前は部活のない期間となる。一度家に帰ってもまた図書館へ行くことは十分可能だと思う。新しい図書館を楽しみにしている声も聞こえてくるので、ぜひ活用してほしいと思っている。

委員 同じ人数でここまでできるのであれば、今までどうしてできなかったのかということに疑問に思った。新しい図書館になるから、サービスを拡充するというのは、少し違うと思った。また、このような田舎町で、冬期間に19時まで利用する人がいるかについても疑問に思う。

委員 冬時間についてだが、会社勤めしている人にとっては、勤務時間は一年中変わらないはずだ。さらに今は車の時代でもある。冬時間を分けることが逆に、現状には合っていないように思う。では、なぜ今までできなかったのかとかということに関しては、先ほどの話の中でボランティアの要請についてあったように、それをひとつの戦力とすることで、新しいことができるということだと思う。

委員 職員数を増やすことができれば一番良いとは思いますが、図書館が新しくなるからそこだけ職員数を増やすというのが難しいというのは理解できる。そう考えると、新しい図書館で今よりもサービス向上したいと考えている図書館の熱い想いを実現するために、ボランティアの活用を考えていく良い機会であると思う。現状維持ではなく、なんとか実現できるよう、行政だけではなく、一般の人を巻き込んでいくことが必要であると思う。

委員 今、学校でも教職員の働き方改革ということが叫ばれている。その理由として、教職員の負担の増加が、教育活動の質の低下につながる懸念がある。図書館も同じように、職員の負担が大きくなるということは、結局回りまわってサービスの質の低下に繋がる心配があるのではないかと思う。職員が生き生きと働きながら、質の高いサービスを提供できるよう、先ほどからあるようにボランティアの力もお借りしながら、持続可能な体制づくりが必要になってくると思う。

事務局 除雪機については、庁舎と共有で購入することとなった。そのためそこにかかっていた負担は、軽減された。

委員 機械だけがくるのか。

事務局 これから調整となるが、本庁舎の除雪担当の職員から図書館の除雪も行ってもらう

予定である。

事務局 積雪状況によって、シルバー人材センターにもお願いしていたが、同じ時間帯に作業要請が重なるため、確保が難しかった。これこそ今後は、除雪についてもボランティアの協力をお願いできればと思っている。

事務局 ボランティアの協力について先ほどから話がでているが、私たちを助けてくれるという面と、活躍の場を創出するという社会教育的な要素もあると思っている。これまで、なかなかボランティアの活用は進めてこられなかったが、新図書館オープンに向けて、本格的に計画を練り、実現していきたいと改めて思った。

また、開館時間等については、今回の案で、果たして本当に質の良いサービスができるかについて一人一人のスタッフの意見も大事にしながら、さらに検討を進めたい。

7 その他

(1) 庄内町立図書館整備事業について（進捗状況等）《説明：事務局》

(2) 立川総合支所改修に係る分館の状況等について 《説明：事務局》

委員 工事期間のため今分館のスペースの半分が立川総合支所のスペースとなり、分館の面積が半分となり、開架の本をかなり減らされてしまい困っている。そのため、本館の閉架にある本をお借りできないか交渉しているところではあるが、それも本館が引っ越しのため、8月までしかお借りできないということで、がっかりしている。分館は、本館に比べ新刊の数も少なく、なかなか自分の手元に本が回ってくるのにも時間がかかる。ただ分館は、私たち町民にとってなくてはならない存在であるため、何か手立てをしてほしい。

事務局 立川エリアの皆さんのサービスが著しく低下してしまうのは、私共の本意ではない。貴重なご意見を受け、どうしたらこの本館休館期間を乗り越えられるか、何らかの手立てを至急検討したい。

委員 指定管理となったが、分館運営はどうなっているのか。

事務局 分館の日常業務は、ほとんど任せている。ただ、随時相談をしながら運営をしており、書籍等の管理については、最終責任は本館にある。

(3) 「令和4年度庄内町教育委員会の重点と視座」について 《資料に基づき説明：事務局》

(4) その他

委員 庄内町の4偉人に関する図書の充実をお願いしたい。やはりまだまだ購入をし、充実

させる必要があると思う。

事務局 2月の協議会でも説明したが、現在4偉人についてのパスファインダーを作成している。そのため、資料の掘り起こしを進め、更に必要性のあるものは購入をしながら、公用にに向けて準備していきたいと思っている。

8 閉 会（事務局）